

# LAMP® 上吊式引戸 FD50-H 上ローラー木口面付 デュアルソフトクローザー仕様

施工説明書

品番：FD50DHCMP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

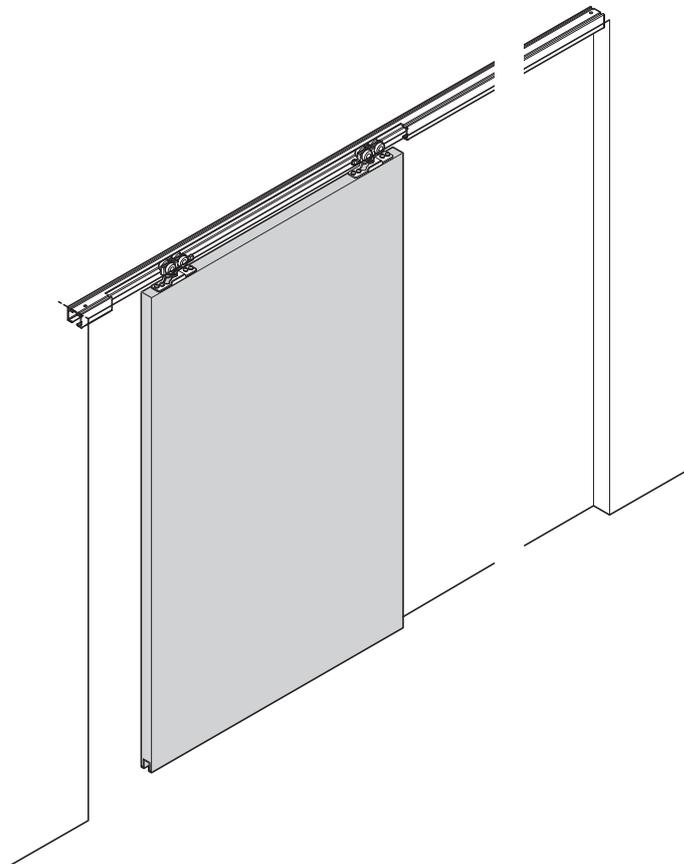
## 本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、戸先と戸尻それぞれ方向に2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

## 仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	774 ~ 1500 mm	800 ~ 1500 mm
扉厚	30 mm 以上	
扉質量 (1 枚当り)	50 kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 4 mm、下方向に 4 mm	

- ・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。



## 正しく安全に施工していただくために

### 図記号の意味

 <b>警告</b> 注意	 <b>禁止</b>	 <b>厳守</b>
---	---	---

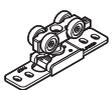
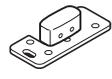
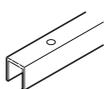
**警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

**注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

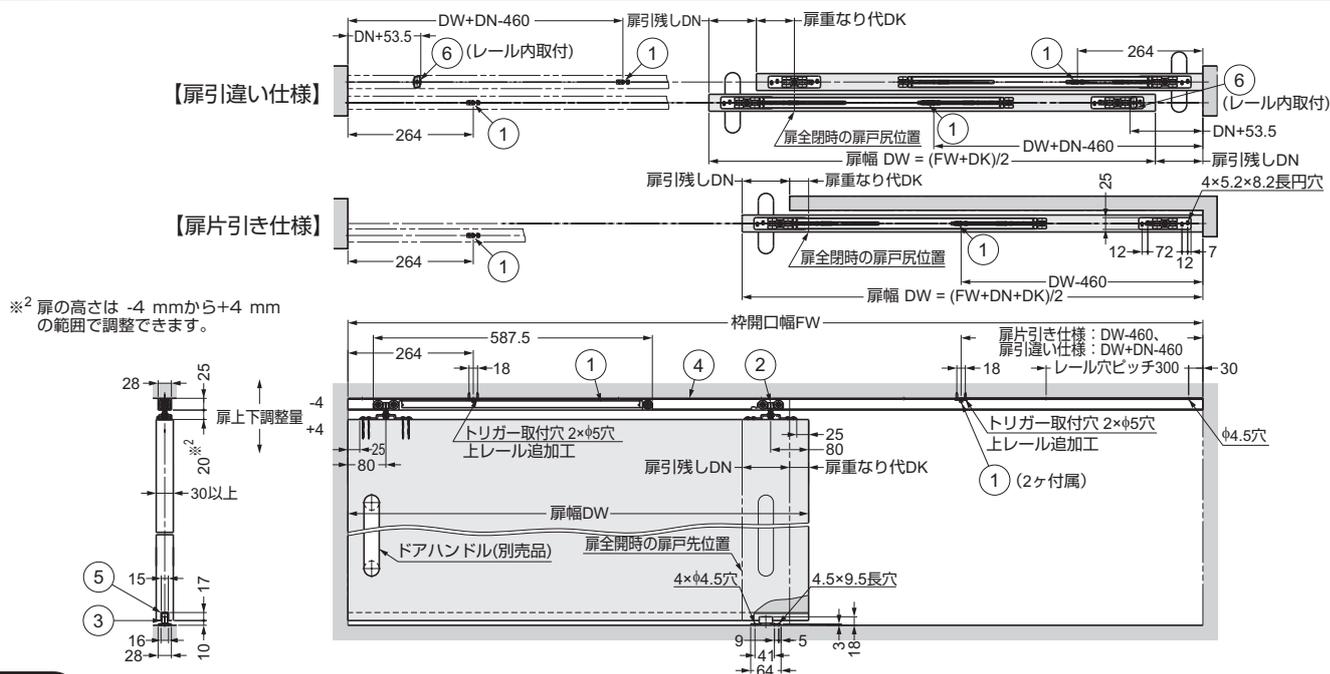
# 部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥		
品名	デュアルソフトクローザー(面付用)	トリガー	トリガー取付治具	上ローラー(面付用)	下ガイドS	上レール	扉下側埋込みガイドレール	ストッパーブロック
品番	FD50-WRM-DSC	FD50-TRG	FD50-TRJ	FD50-WRM	FD50-BG18	FD50-TRM 型	FD30-HBRT1500SIL	FD50-HSB
部品	 付属: 十字穴付なベタッピンねじ 4×45……4ヶ	 付属: 十字穴付小径皿タップピンねじ 4×30、皿頭径φ6……4ヶ		 付属: 十字穴付なベタッピンねじ 4×45……4ヶ	 付属: 十字穴付バインドタップピンねじ 4×16……5ヶ	 1820~4000 mm 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm	 1500 mm 穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm	
片引き	 1ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1本	1本	—
引違い	 2ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2本	2本	2ヶ <sup>※1</sup>
引分け	 2ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1本	2本	2ヶ

No.	⑦	⑧
品名	戸当り(床付用)	下ガイドL
品番	FD30-HTKY	FD50-BG32
部品	 扉を縦枠に当てない場合に使用 付属: 十字穴付バインドタップピンねじ 4×30……3ヶ	 通常より扉の下にスペースを設けたい場合に使用 付属: 十字穴付バインドタップピンねじ 4×16……5ヶ

※<sup>1</sup> 扉にドアハンドルを取り付ける場合は、必ずお買い求めください。

# 寸法図



# 取付手順

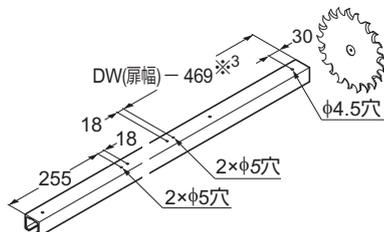
本書では、扉片引き仕様を例に説明しています。

## 1 取付前の準備、取付け

### 1. 上レールの切断・穴加工

切断、穴加工は右図を参照。

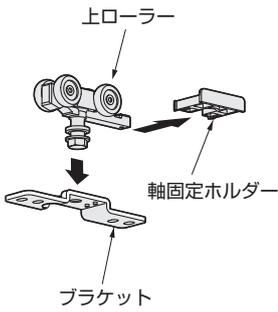
- ① 切粉がレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ② レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。



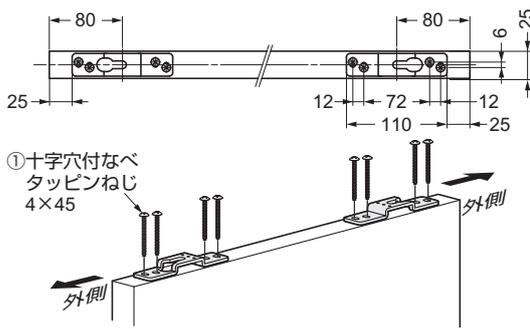
※<sup>3</sup> 扉引違い仕様の場合:  
DW(扉幅) + DN(扉引残し) - 469

## 2. ブラケットの取付け

### 1 分解



### 2 固定

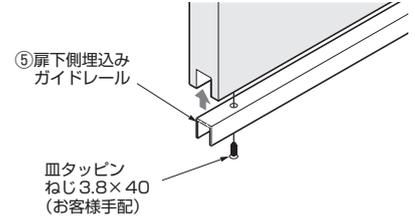


## 3. 扉下側埋込みガイドレールの取付け

(1) 扉下側埋込みガイドレールを扉幅と同じ長さに切断する。

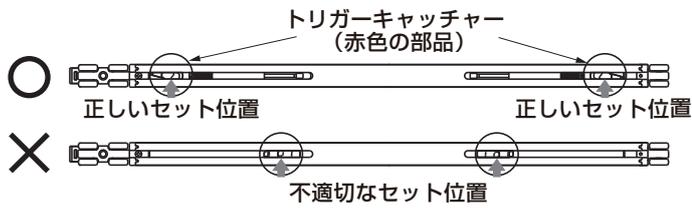
① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。

(2) 皿タッピンねじ 4x16 (お客様手配) で取り付ける。



## 4. デュアルソフトクローザーを取り付ける前の確認

△ 確認しないで取り付けした場合扉が引き込まない故障の原因になります



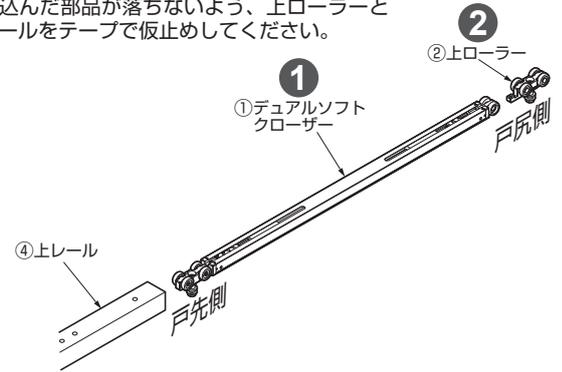
位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒でトリガーキャッチを引っ掛けて正しい位置に戻す。



## 5. 上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①②の順番で組み込む。

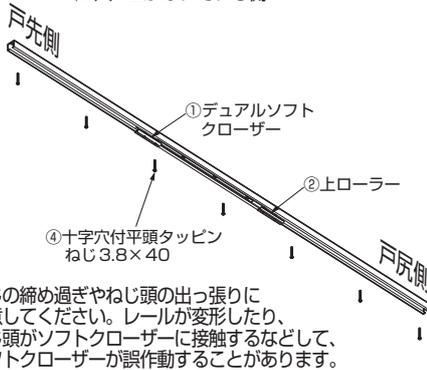
① 組み込んだ部品が落ちないように、上ローラーと上レールをテープで仮止めしてください。



## 6. 上レールの取付け

戸先側、戸尻側の向きに注意し、上レールを付属ねじで上枠に固定する。

△ 戸先側：レール端から264 mmの位置にφ5穴×2がいている側

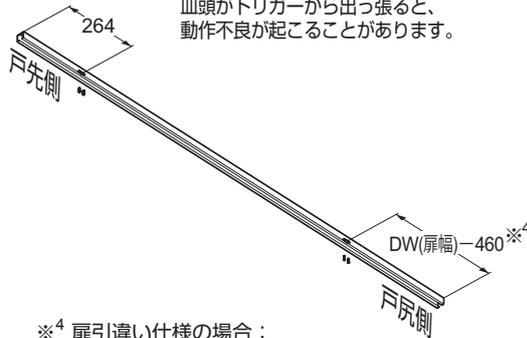


① ねじの締め過ぎやねじ頭の出っ張りに注意してください。レールが変形したり、ねじ頭がソフトクローザーに接触するなどして、ソフトクローザーが誤作動することがあります。

## 7. トリガーの取付け

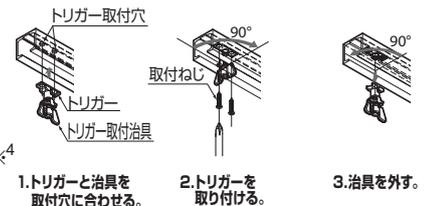
寸法図にしたがい、戸先側 264 mm、戸尻側 A-460 mm の位置にトリガーを付属ねじで取り付ける。

① 取付ねじは垂直に取り付けてください。皿頭がトリガーから出っ張ると、動作不良が起こることがあります。



※<sup>4</sup> 扉引違い仕様の場合：  
DW(扉幅) + DN(扉引残し) - 460

### トリガー取付治具の使い方



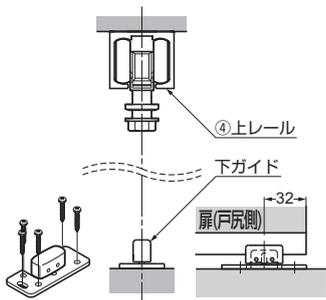
1. トリガーと治具を取付穴に合わせる。 2. トリガーを取り付ける。 3. 治具を外す。



## 8. 下ガイドの取付け

(1) 上レール中心の真下に、下ガイドの中心を合わせる。

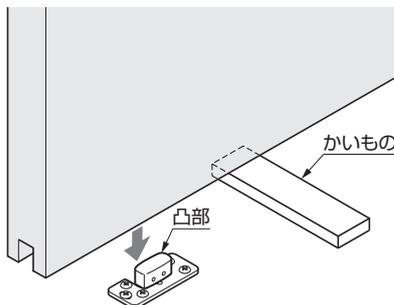
(2) 扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が扉から外れない位置となるよう調整し、付属ねじで取り付ける。



## 2 扉の吊込み、調整

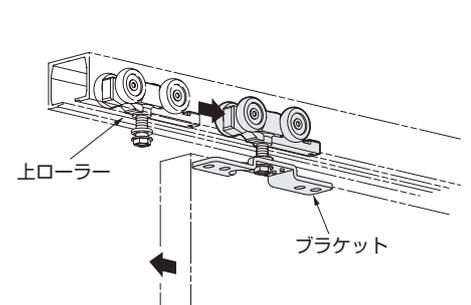
### 1. 扉の吊込み (扉下部)

扉の下に 10 mm のかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



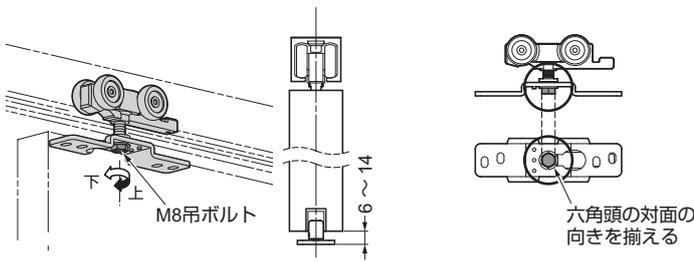
### 2. 扉の吊込み (扉上部)

上ローラーを、扉に付いたブラケットへ横から差し込む。



### 3.扉の高さ調整

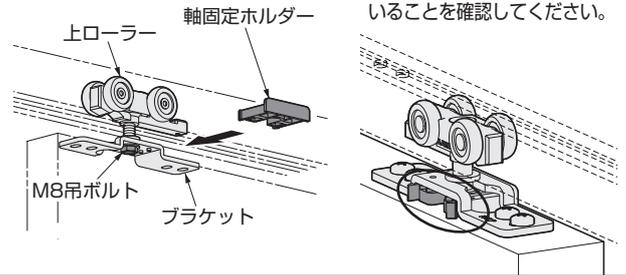
- (1) 扉の下から10 mmのかいものを外す。
- (2) 上ローラーのM8吊ボルトの六角頭を、スパナ10 (お客様手配) で回転させ、扉と床のすき間が6 ~ 14 mmになるように調整する。
- (3) M8吊ボルト六角頭の対面の向きが、向かってまっすぐ、平行になるように揃える。



### 4.軸固定ホルダーの取付け

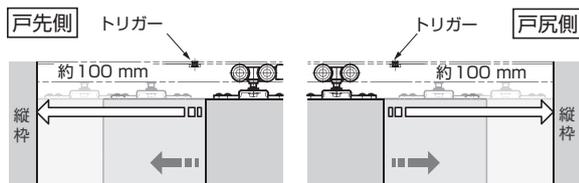
M8吊ボルトの六角頭の対面の向きが揃っている状態で、軸固定ホルダーをブラケット中央開口部に最後まで確実に差し込み、扉と上ローラーを固定する。

- ① 軸固定ホルダーの爪部が、ブラケットの反対側にかかっていることを確認してください。



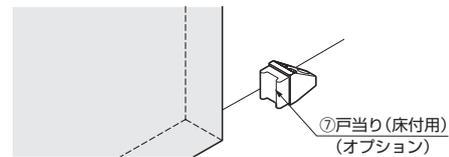
### 5.ソフトクローザーの動作確認

- (1) 扉を戸先側にゆっくり動かして、ソフトクローザーがトリガーに当たり、扉が最後まで閉じるか確認する (閉じ始め位置は縦枠の約100 mm手前)。
- (2) 戸尻側も同様に確認する。
- (3) クローザーが正しく機能していない場合は下記の「困ったときの対応」を参照。



### ■戸当り (床付用) の取付け

扉を縦枠に当たらない場合、オプションの戸当り (床付用) を必ず取り付ける。



### ■扉の外し方

- (1) 扉の下に10 mmのかいものをはさむ。
- (2) 軸固定ホルダーを外す。
- (3) 上ローラーを扉に付いたブラケットから外す。



- (4) 下ガイドから扉を外す。  
⚠ 扉を倒さないように注意してください。

取付後の確認	ねじの締め忘れ、取付け忘れのないことを確認してください。
定期点検	・レール内を掃除してください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。

## ■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6 ~ 14 mmになるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。 モヘア等を使用していませんか。	水平器を利用して、水平に上レールを取り付けてください。 モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じた場合、機能が十分に発揮されず、故障の原因になりますので、おやめください。
扉の開閉時に異音が発生する	P.3 手順4のトリガーキャッチャーの位置が変わってしまった可能性があります (レールを取付けた状態では確認できません)。	扉とレールを取り外し、P.3 手順4の確認をしてください。
	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6 ~ 14 mmになるようにしてください。
扉の開閉が重い	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように下ガイド、ストッパーの位置を調整してください。一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取り除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が軽い	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6 ~ 14 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように下ガイド、ストッパーの位置を調整してください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター  
http://www.sugatsune.co.jp/

2018.11.0592-6